

平安時代の学僧 朗澄律師の遺徳をしのぶ

青鬼まつり 5月17日(日)

会場：石山寺 東大門前 (法要)9時30分～ (青鬼太鼓・おどり奉納)10時～



▲新緑の下を進む御練(おねり)

青鬼まつりは、死後も鬼となって石山寺と聖教を守り続けていると伝わる、平安時代の学僧 朗澄律師の遺徳を称えるお祭りです。東大門前に建てられた大きな青鬼像の前で法要が営まれ、そのあと地元の子供たちによる「青鬼太鼓」や「青鬼おどり」が奉納されます。大団扇で扇がれる「降魔招福」の薫風は無病息災のご利益があるとされています。



▲杉の葉で作られた5mの青鬼像



▲「青鬼太鼓」の奉納

千個の団子を鬼子母神に供える600年以上続く祭礼

千団子祭

5月16日(土)10時開扉法要  
17日(日)16時閉扉

会場：三井寺 護法善神堂



▲護法善神立像(ごほうぜんしんりゅうぞう)

三井寺・護法善神堂の本尊である鬼子母神・護法善神立像(ごほうぜんしんりゅうぞう)の祭礼で、子供の健やかな成長を願います。鬼子母神の1,000人の子を供養するため色とりどりの1,000個の団子を供えることから、「千団子祭」と呼ばれています。同祭に合わせて、護法善神立像の御開帳法要も行われ、放生池では、亀の甲羅に墨で子供の名前と年齢を書いて池に放ち、子供の無病息災を祈願する放生会が行われます。



▲護法善神立像の御開帳法要



▲子供の無病息災を祈願する放生会

「あお若葉」をさらに楽しむ二寺の行事

この時期、二寺では歴史のあるお祭りが行われます。

二寺を巡る 「あお若葉の競演」限定御朱印

大本山 石山寺  
多宝塔本尊である大日如来の御朱印  
にあお若葉の印  
授与 石山寺本堂  
志納料 500円

総本山 三井寺  
三井寺唐院釈迦尊とあお若葉の印  
授与 三井寺金堂  
志納料 500円

二寺を学ぶ 「びわ湖大津歴史百科」  
スマホアプリのガイド

滋賀県大津市の石山から浜大津地区に点在する、豊富な文化遺産の情報を発信するアプリです。お手持ちのスマートフォンがガイドブックに早変わりします。無料でダウンロードしていただけます。大津の歴史を発見し、楽しく学びながら巡る事ができます。

石山寺と三井寺の境内マップが用意されているので、詳しい説明を見ることができます。

アプリダウンロードQR

**大本山 石山寺**

- 所在地 〒520-0861 滋賀県大津市石山寺1-1-1
- 時間 8時～16時30分(最終入山16時)
- 電話 077-537-0013(石山寺) / 077-537-1105(石山観光協会)
- 入山料 大人 600円(個人) / 500円(団体)  
(団体=30名以上) 中学生 600円(個人) / 350円(団体)  
小学生 250円(個人) / 200円(団体)

◇ ホームページ

[石山寺](https://www.ishiyamadera.or.jp/)

https://www.ishiyamadera.or.jp/

**総本山 三井寺**

- 所在地 〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町246
- 時間 9時～16時30分(最終入山16時)
- 電話 077-522-2238
- 入山料 大人 800円(個人) / 700円(団体)  
(団体=30名以上) 中学生 500円(個人) / 400円(団体)  
小学生 300円(個人) / 250円(団体)

◇ ホームページ

[三井寺](https://miidera1200.jp/)

https://miidera1200.jp/



滋賀県大津の古刹二寺  
初夏の特別公開

総本山 三井寺

あお若葉の競演

大本山 石山寺

あお若葉の息吹に、癒しを感じる  
石山の岩肌、三井の霊泉。豊臣兄弟ゆかりの安寧の地で、  
歴史と自然が紡ぐ壮大な競演が幕を開けます。

如意輪観音半跏像  
釈迦如来坐像

令和8年  
4月25日[土] - 5月17日[日]

主催 | 大本山 石山寺 / 総本山 三井寺  
共催 | 一般社団法人石山観光協会



多宝塔(国宝)と珪灰石(天然記念物)

大日如来坐像(重文)



光堂外観

## 今も昔も多くの信仰を集める日本有数の観音霊場

石山寺は、清流瀬田川のほとり、伽藍山(標高239m)の麓にあり、奈良時代から観音の聖地でありました。縁起によれば、石山寺は天平19年(747)、聖武天皇の勅願で良弁僧正が創建とされています。現在、本堂に安置されている御本尊如意輪観音菩薩(重文)は、日本唯一の勅封秘仏といわれ、御開扉は33年に一度。安産、福德、縁結びなどに霊験あらたかな仏さまとして信仰を集めています。平安時代には貴族たちの間で石山詣が盛んになり、紫式部は参籠の折に「源氏物語」の着想を得たとされています。他にも「枕草子」「蜻蛉日記」「更科日記」などの文学作品に登場するなど、石山寺は平安王朝文学の開花の舞台となりました。また学問の寺として絵画・聖教・典籍など数多くの歴史的な寺宝を有します。



阿弥陀如来坐像

如意輪観音半跏像

### 特別公開 光堂の三尊特別公開

【拝観期間】4月25日(土)～5月17日(日) 【開催場所】石山寺 光堂

この時期だけ特別に公開される光堂の特別拝観。光堂本尊の阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)、旧多宝塔の本尊と伝わる大日如来坐像(平安時代・重文)、淀殿寄進による如意輪観音半跏像(桃山時代)にお参りいただけます。

- 拝観時間：9時～16時(光堂は15時30分最終入場)
- 光堂特別拝観料：無料(別途入山料600円必要)

### 特別公開 令和8年春季企画展示

## 「石山寺と紫式部展～石山寺の祈りのかたち今昔(いまむかし)」

【拝観期間】3月18日(水)～6月30日(火) 【開催場所】石山寺 豊浄殿

【拝観時間】10時～16時(入館は15時45分まで)

【拝観料】300円(入山料別途必要)

石山寺豊浄殿では、春と秋に収蔵品を中心に企画展示を行っています。今春の展示は、「石山寺の祈りのかたち今昔」がテーマです。古来より、人々は願いをかなえるために祈りを捧げてきました。家の繁栄や降雨、治病、除災など、よいことから悪いことまで、願いの内容は多岐にわたり、祈る対象やその方法は、僧侶の加持祈祷からおまじないまで、様々なものがありました。石山寺の本尊・如意輪観世音菩薩にも、その霊験を頼りに多くの人が参詣し、平安時代には「石山詣」が流行しました。今回の展示では、石山寺における様々な「祈り」を、石山寺に伝わる「石山寺縁起絵巻」や「源氏絵」などを通してご紹介します。



### 特別公開 本堂内陣特別拝観 「祈り、馬に乗る」

【拝観期間】1月17日(土)～5月17日(日)

【開催場所】石山寺 本堂内陣

- 拝観時間：9時～16時(受付は15時45分まで)
- 拝観料：一般(中学生以上) 500円 / 小学生 250円

※別途入山料600円(小学生 250円)が必要です。※法要等で拝観できない場合もあります。



### 関連イベント

4月25日(土)～5月17日(日)

### 門前店でのあお若葉のおもてなし

期間中、石山寺の門前のお店では「あお若葉の競演」にちなんだメニュー、商品をご用意しています。お寺の拝観のあとに、ぜひお立ち寄りください。



大本山

# 石山寺

西国第13番札所  
源氏物語紫式部ゆかりの花の寺



総本山

# 三井寺

西国第14番札所  
近江大津京ゆかりの古刹

## 湖国の名勝、琵琶湖を見下ろす近江の古刹

天台寺門宗の総本山。境内に天智・天武・持統の三天皇の御産湯に用いられたとされる霊泉(井戸)があることから、「御井(みい)の寺」と称され、後に「三井寺」と通称されるようになりました。国宝の金堂を始め、西国第十四番札所の観音堂、釈迦堂、唐院など多くの堂舎が建ち並び、国宝・重要文化財は100余点を数えます。三井寺は、7世紀に天智天皇ゆかりの寺として創建され、その後、第5代天台座主・智証大師円珍(814～891年)によって発展の基礎が築かれ、日本を代表する「本朝四箇大寺」に数えられる大寺院となります。長い歴史のなかで度々戦禍を蒙りますが、その都度、復興したことから「不死鳥の寺」とも呼ばれています。

三井寺 金堂



金堂(国宝)

### 特別公開 国宝・金堂特別拝観 「豊臣兄弟とその時代」

【拝観期間】4月25日(土)～5月17日(日)

【開催場所】三井寺本堂 金堂(国宝)内陣

- 拝観時間：9時～16時30分(受付終了16時)
- 料金：500円(別途拝観料が必要)



唐院釈迦三尊

釈迦如来坐像



展望台からの景色

### 特別公開 2026年大河ドラマ 公開記念

## 「豊臣兄弟とその時代」展

【開催期間】2月1日(日)～12月28日(月)

【開催時間】9時～16時30分(受付終了16時)

【開催場所】三井寺本堂 金堂

【料 金】無料(別途拝観料が必要)

本展は、豊臣秀吉と北政所をはじめとする「豊臣兄弟!」にゆかりのある、三井寺と関わりの深い人々を取り上げ、激動の時代を生きた姿を紹介します。かつて秀吉公の「欠所」により存亡の危機に立たされた三井寺。その窮地を救い、復興へ導いたのは正室・北政所や秀頼公ら豊臣家の人々でした。本展では、北政所が再建した国宝・金堂の歩みを中心に、豊臣家ゆかりの貴重な古文書や寄進状、桃山文化の息吹を伝える障壁画などの名品を一堂に展示します。

羽柴秀吉書状(東京大学史料編纂所蔵)



### 必見 「豊臣兄弟」展の見どころ3選

～桃山の三井寺に刻まれた、豊臣家再興の軌跡を辿る～

- **北政所再興のドラマ**  
歴絶の危機から国宝「金堂」を再興した、秀吉の正室・北政所の歴史を紐解く。
- **秀頼公が託した「豊臣の絆」**  
仁王門や直筆書状など、三井寺と豊臣家の深い信頼を物語る至宝を特別公開。
- **兄弟が愛した「桃山文化」**  
絢爛豪華な障壁画の数々。秀吉・秀長兄弟が築いた黄金時代の芸術の粋を体感。

### 関連イベント

5月6日(水)限定

### 三井寺自然茶会

三井寺境内の古樹から摘んだ新芽を釜炒りした、出来立ての緑茶をご賞味ください。

- 場所：光浄院客殿
- 時間：午前の部10時/午後の部14時
- 定員：各8名様
- 費用：お一人様10,000円



4月25日(土)～5月17日(日)

### 尾上瑞紀個展

「新生と変化の地球絵巻」

- 場所：三井寺本堂 金堂
- 時間：9時～16時30分(受付終了16時)
- 費用：無料(別途要拝観料)



4月25日(土)～6月21日(日)

### 大津絵師 五代目 高橋 松山展

～わきあいあい～

- 場所：観音堂書院
- 時間：9時～16時30分(受付終了16時)
- 費用：無料(別途要拝観料)

